

東灘区薬剤師会だより 第62号

令和7年12月発行

会長挨拶

師走を迎える頃になりますと近年は咳止め、去痰剤、解熱剤等の確保に頭を痛めるとともに各年でやってまいります調剤報酬改定の動向に会員の皆様におかれましては神経をすり減らす日々を送られることとお察し申し上げます。

経営戦略上、診療報酬改定に呼応することは避けられないテーマであります。その中で急速に進む医療DXについては設備投資に対する投資回収計画に不透明感を感じます。また「対物」から「対人」への業務シフトが提唱され久しいですが、年々増してゆくのは対物業務量であり、その業務量に溺れぬ切り札としてのIT化が薬局現場に導入されてきました。しかしながら一定のITリテラシーは薬剤師のみならず一般職員、加えて患者さんにも求められ、その対応に割く労力は軽くありません。いささか感情的な表現となります。将来の薬剤師像は「データマネジメント能力を纏った薬剤師」なのか「薬剤師資格を持つデータサイエンティスト」なのか胡蝶の夢、つまりはアイデンティティの相対性に自問自答を繰り返すことと予測されます。

一方でPCやインターネットの登場より以前から「病を診て人を観ず」医療、特に医師を中心に引き継がれてきた戒めの言葉は、現在においても確固として、加えてIT時代を予測していたかのように医療業界全体に広く認知されています。我々薬剤師が対物業務に力点を置いていた時代では距離感を感じていたコンセプトも対人業務に力点を置く現在では銘記せねばならないと思われます。

今後もより一層、我々にはIT、AIを活用した業務効率化が求められ対人業務に割く時間を創出し患者データを閲覧、調査、活用し業務にあたることになりますが人としてひとりひとりの患者さんと向き合うことに価値観を見出す必要、つまりは薬剤師という職業を選択した際の気持ち、医療人として人の役に立ちたいという信条をいかなる状況でも忘れてはならないでしょう。

How I Became a Pharmacist! 未来を担うこれからの薬剤師に堂々と語れるよう自らを律してゆきたいものです。

最後となりましたが、会員の皆様の今後のご健康とご活躍を心より祈念しております。

東灘区薬剤師会 会長 廣瀬 貴宏

《《《 2025年上半期 部会報告 >>>

◇ 学校薬剤師部 報告 鹿嶋 純子

○イベント行事など参加

- ・神戸市学校薬剤師部理事会 第1回5月22日(木) 第2回8月28日(木)
- ・神戸市学校薬剤師部総会研修会 第1回研修会6月7日(土)

第2回研修会 11月13日(木)

- ・令和7年度喫煙飲酒薬物乱用防止教室講習会 7月11日(金)
- ・第12回兵庫県薬剤師会学校薬剤師大会 8月3日(日)
- ・第58回神戸市学校保健大会 10月9日(木)

○定期検査

1学期 6月～7月

- ・学校給食調理室の調理器具、食器及び職員の手指細菌検査、食器の残留澱粉油脂検査、給食施設の設備確認、記録簿の確認
- ・水道水、ウォーターサーバー、雑用水の水質検査
- ・学校プール水質検査、施設設備の点検確認

2学期 9月～10月

- ・学校給食調理室の調理器具、食器及び職員の手指細菌検査、食器の残留澱粉油脂検査、給食施設の設備確認、記録簿の確認
- ・学校教室の空気検査（室温、気温、二酸化炭素、気流）
- ・照度検査（採光、照明など）
- ・ダニ検査

○担当校園での研修説明会開催

・5月9日（金曜日） 14時～約30分間 頌栄幼稚園 参加者数 10名

担当：水田泰子 「エピペン」説明会

配布資料あり（ビアトリスホームページから抜粋）

・6月28日（土曜日） 石屋川くるみ保育園 参加者数 17名

担当：水田泰子先生

「ブコラム、エピペンについて」説明会

・11月10日（金） 御影小学校 6時間目 参加者数 教師2名生徒23名

担当：鳩貝壽代先生

「手洗い実験」学校医保健委員会の活動に参加

◇ 広報文化部 報告 宮崎 充宏

・6月14日 広報文化部部会 県薬会館 4F 会議室

1. 5/18 東灘区薬剤師会総会 (バス)
2. 8/24 兼安公園 地蔵盆 フレイルチェック
3. 10/4 神戸医療産業都市一般公開 2025
4. 10/5 第36回こうべ福祉・健康フェア 於:しあわせの村 天候不良中止
5. 11/15 地域交流文化祭 於:本山西地域福祉センター
6. ホームページ更新作業
7. 東灘区薬剤師会広報誌“だより”発行 6月

◇ 地域医療部 報告 大壁 隆史

1. 東灘区在宅医療・介護連携推進協議会 6/11, R8.2/18 (開催予定)
2. 東灘区在宅NST推進研究会会議参加
4/28, 5/26, 6/23, 7/28, 8/25, 9/22, 10/27, 11/25, 12/23
3. 東灘区在宅NST推進研究会研修会
9/13 「褥瘡ケアのあれこれ」
11/22 「第2回うめぇプロジェクト研修会 (事例検討会)」
2月 or 3月 研修会開催予定
4. 介護予防講座 (生きディ)
5. 東灘区民健康講座講師派遣 10/10 (講師:坂井先生)
6. くすりと健康セミナー (神戸薬科大学) 6/14, 12/13

◇ 救急対策部 報告 宮崎 充宏

・第1回救急対策部会 (11月20日) ZOOM参加

救急対策部会では、神戸市医師会の夜間休日急病診療所 (中央、東部、西部、北部)、西神戸医療センター及び神戸こども初期急病センターへ出務される先生方の管理運用を行っております。

出務される先生方におかれましては、業務マニュアルの遵守の徹底を引き続きよろしくお願い致します。

◇ 研修部 報告 坂井 大悟

今年度は、会員の皆様のご支援により、研修部として計3回の研修会を無事開催することができました。また、灘薬剤師会との共催により、兵庫医科大学薬学部のご協力のもと無菌調剤研修を実施でき、実践的で有意義な研修機会を提供することができました。これらの取り組みが円滑に実施できましたのは、皆様のお力添えの賜物であり深く感謝申し上げます。

◇ 災害・公衆衛生部 報告 川岸 正尚

1.災害対策活動

1)東灘区、三師会行政合同災害対策

合同会議

第1回（5月22日）

第2回（10月3日）

2)東灘区薬剤師会 災害・公衆衛生部

部会会議

第1回（7月17日）

第2回（11月25日）

3)研修参加

上記を通じまして、発災時の東灘区における医療体制の構築のため、行政、三師会及び、会員薬局との連携するための体制を整備しております。

◇ 薬学教育部 報告 熊本 真希

1.部会

- ・第一回薬学教育部担当部会参加：7/12
- ・第二回薬学教育部担当部会参加：11/22

2.薬学生実務実習関連

1) 実務実習受入状況

薬局実務実習

I期（2/17～5/4）受け入れ薬局：6 薬局、実習生：8名

II期（5/19～8/3）受け入れ薬局：7 薬局、実習生：9名

III期（8/8～11/2）受け入れ薬局：3 薬局、実習生：4名

2) 集合研修

- ・接遇マナー研修、製薬会社による研修会、アンケート実施

2/20 I 期学生参加者：8名

5/22 II 期学生参加者：9名

8/21 III 期学生参加者：4名

→Meiji Seika ファルマ株式会社：「感染制御の基本」

→株式会社大塚製薬工場：「在宅における輸液・栄養」

- ・在宅訪問研修 協力薬局により随時実施

- ・漢方製剤研修 協力薬局により随時実施

- ・沢井製剤三田工場見学 4/24 6/24 10/16

3.早期体験実習・新1年受け入れ

神戸薬科大学より依頼あり

4.その他

政令指定都市薬剤師会・統一薬物乱用防止キャンペーン参加：7/19

◇ 医療保険部 報告 熊本 真希

1.重複服薬個別訪問事業への実施協力

- ・第1回 医療保険部担当部会（打ち合わせ会）参加：7/3
- ・第2回 医療保険部担当部会（打ち合わせ会）参加：10/9

2.保険質問票回答業務

質問回答数：0件

3.医師会・歯科医師会・行政に関連する業務

- ・令和7年度 東灘区三師会懇談協議会参加：11/8

◇ 薬局経営部 報告 河本 周子

7月5日（土）令和7年度第一回薬局経営部担当理事会・部会

7月19日（土）政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン

9月27日（土）「カスタマーハラスメント対策研修会」

ハートフル薬局・薬店事業の運営および推進

神戸市紙おむつ支援事業への参画

講師派遣等による医薬品の安全使用の促進

カスタマーハラスメント対策についてのサポート体制の構築

時局対応に関する支援の実施

〈〈〈活動報告〉〉〉

イベント参加報告

神戸医療産業都市（KBIC）一般公開 2025

10月4日（土）表題のイベントが開催され、神戸市薬剤師会は「子どもの薬剤師体験コーナー」として今年も参加しました。我々薬剤師会の場所は「臨床研究情報センター（TRI）2階」で外の通路からよく見えるいつものブースに設定されています。朝10時から16時30分まで開かれ、出務の薬剤師は10名で担当は受付・説明・実技などを交代でまわります。子供や付き添いの方々と薬関連の話題で盛り上がったりと面白い経験もできました。市薬の安田会長もあとで来られいつものニコニコ笑顔で見守っておられました。

事前に46名の申し込みがあり、当日は57名が白衣を着ての薬剤師体験ができ楽しんでもらえたと思います。食紅で着色したピンク色乳糖と白色乳糖を秤量し、乳鉢乳棒を使いまぜまぜし、分包機から出てくる“薬”に子ども達は好奇心の目で覗き込んでいました。写真担当の親御さんも「ほお～」と。子供たちには残念ですがこの出来上がった薬は回収しましたが、白衣・修了書・名札・うでっこパンダ・他はおみやげです。

子供たちが楽しめるイベントが「科学謎解き2」～ミライ島からの挑戦状～として8か所設定され、キーワードを集めてクリアスタンプをゲットする面白い企画となっていました。我々の北エリアでは薬に関連したエリアで、アニメの「薬屋のひとりごと」の主人公“猫猫（まおまお）”に扮した綺麗なコスプレ衣装のかわいい女性が登場し、長い髪を猫猫風に結ってよく似合っていました。

違和感をお持ちのまじめな先生もおられるかもしれません、おくすり手帳の表紙に猫猫が採用されていますね。猫猫は“薬師くすし”として薬（時代設定は不明の中国）漢方薬への素養・執着・向上心が強い可愛くて若い女性です。好奇心、知識欲、そして、ほんの少しの正義感が抑えられない“薬屋”です。何より、文献を読み漁っています。薬剤師の皆様も猫猫と少しシンパシーを感じるところはないですか。

今回、「新たな創薬で病を滅ぼす」「薬学と人工知能」としてアニメ「鬼滅の刃」とコラボし、表紙がキャラクター“胡蝶しのぶ”的小冊子が配布されました。京都大学大学院医学研究科ビッグデータ医科学と神戸市ポートアイランドにあるスーパーコンピューター「富岳」を活用しデータ処理をし、創薬AIの開発を進めています。今までの創薬に掛かる長



い時間と開発費用が、これからはより早く、より安全で、コスト削減につながっていく未来が待っています。

このイベントの二日後に、ノーベル生理学・医学賞の発表があり、「制御性T細胞(Tレグ)」を発見された坂口志文教授が受賞されました。自己免疫疾患の薬の開発が進み我々薬剤師にも関係します。皆さんご存じの人気アニメ「はたらく細胞」でも「制御性T細胞」は登場しています。

そしてなんと!、三日後にはノーベル化学賞を「金属有機構造体(MOB)の開発」の研究で北川進教授が受賞され、日本の力は凄いと驚き喜びました。がしかし私は、この日本の凄さはどこにあるのかと考えてしまいました。今後の日本の中からはどうなんだろうかと。坂口先生は、「運うん・鈍どん・根こん」を大切に、北川先生は「疾風知勁草」が座右の銘とされています。両先生のそのままの飾らない笑顔は地道な研究成果が実を結びノーベル賞受賞の結果を物語っているようです。北川先生は「一般の方にもわかりやすく説明していきたい」と話されていました。嬉しいですね、我々に向いてくれて。

皆さま、健康が第一です。日々の薬剤師業務に励んでください。

鹿嶋 純子



≪会員の広場≫

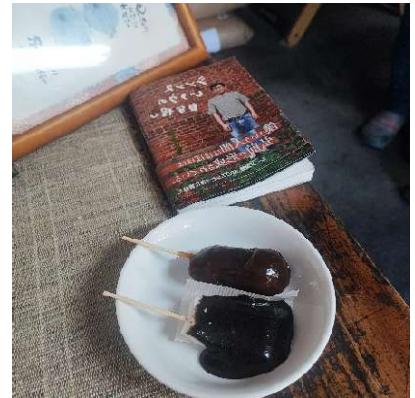
友人の結婚式で 未踏の地青森県へ

Y.K.

まだ夜明け前の朝 5時半、ねむい目を擦りながら起床。

朝は早いが、伊丹空港へ向かう足取りは軽い。今回は大学時代の友人の結婚式に参列するためだ。7時35分発の飛行機で青森へ飛び、空港からバスに揺られて弘前へ。北国の厳しい寒さを覚悟して厚着をしていたが、降り立った街は予想外の暖かな陽気に包まれ、雪も降っておらず拍子抜けだった。

弘前駅に着くやいなや、まず向かったのは老舗「戸田うちわ餅店」。観光よりも何よりもここを最優先して直行した。休日には人気のため売り切れがあると聞いたからだ。無事にありつけた念願の串餅は、たっぷりの胡麻ダレが濃厚かつ上品で、早起きして移動してきた体に染み渡る至福の美味しさだった



心もお腹も満たされ、いざ弘前公園へ。そこで目にした岩木山は、澄み渡る青空の下、堂々たるその姿あまりにも神々しく言葉を失った。天守との美しい共演を目に焼き付けた後は、旅先での密かな楽しみである「趣味のマンホールカード集め」をしっかりと遂行。デザイン性の高い一枚を入手して収集家の心を満たすと、続けて街中のカフェで名物のアップルパイも堪能し、弘前の魅力を五感で味わい尽くした。

「津軽藩ねぶた村」で伝統の熱気に触れた後は、いよいよ旅のメインイベントである結婚式へ。神々しい山に見守られた地での再会、そして友の晴れ姿はいつも増して胸に迫るものがあり、幸せな余韻に浸る夜となった。



朝は青森市へ移動し、「青森県立美術館」へ。雪の中に佇むような「あおもり犬」のどこか寂しげで愛らしい姿や、シャガールの「アレコ」ホールでの圧倒的な色彩体験に感性が深く刺激される。旅の締めくくりは「ねぶたの家 ワ・ラッセ」。昨日のねぶたとはまた違

う、青森ねぶたの勇壮な造形美と祭りの熱気を肌で感じ、後ろ髪を引かれる思いで帰路についた。

とても充実した旅になったが、弘前公園といえば日本屈指の桜の名所でもある。今回は一人だったが、次は桜が見頃の春に、今度は家族を連れて必ず再訪したい。と思い青森を後した。

※青森ねぶたは企業や市町村の依頼で“ねぶた師”が製作するそうです。ねぶた師だけでは生計が立たないので兼業が一般的で、2025年の大賞のねぶた師さんは薬剤師。



〈〈会員の広場 投稿募集〉〉

会員の皆様より投稿を募集しております。投稿内容は問いません。
ご質問、ご不明な点などがあれば東灘区薬剤師会事務所までお問い合わせ下さい。

〈〈編集後記〉〉

師走に入り、街は慌ただしい年の瀬の雰囲気に包まれてきました。皆様におかれましては、本年も多忙な中、東灘区薬剤師会に関する活動や情報に温かいご関心を寄せてください、心より感謝申し上げます。

この一年も、私たちは自然災害への備え、新たなパンデミックへの対応、そして地域における医療連携の強化など、様々な側面から「災害医療の新時代」を模索してきたような気がします。災害時には、平時の医療体制が脆くも崩れ去り、その中で一人ひとりの医療従事者がいかに重要な役割を果たすかが問われます。

年末年始は、寒さや雪による交通障害、さらにはこの時期特有の火災など、新たなリスクも増える時期です。そして、大規模災害は決して時期を選びません。どうか皆様も、この機会にご自身の備蓄や、職場の防災マニュアル、BCPを再確認していただければ幸いです。

皆様の安全と健康を第一に、心穏やかな新年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

発 行：東灘区薬剤師会
発行責任者：廣瀬 貴宏
編 集：広報文化部 宮崎 充宏 鹿嶋 純子
川岸 正尚
〒658-0084 神戸市東灘区甲南町3丁目9-17 有明ビル3F
執務時間：平日 13:00 ~ 17:00
TEL: 078-451-8501 FAX: 078-451-8502
メールアドレス：higashinadaph@r9.dion.ne.jp
ホームページ：<https://higashinadakuyaku.com>



やくすけ



ヒガッピー